



今年はカッパが登場

占根ヒラニドに
爽快ジョギング

(6. 7 ページに関連記事)

ねっとうなとど

ふるさとの心

伝えていきたい地域の文化

旗山神社に伝わる神舞い



『ふるさと』という言葉から皆さんどのような連想をしますか。
温かい人柄や地域性という感じがするのではないのでしょうか。
今回は、皆さんのふるさと大根占町に伝わる芸能、文化について考えてみます。

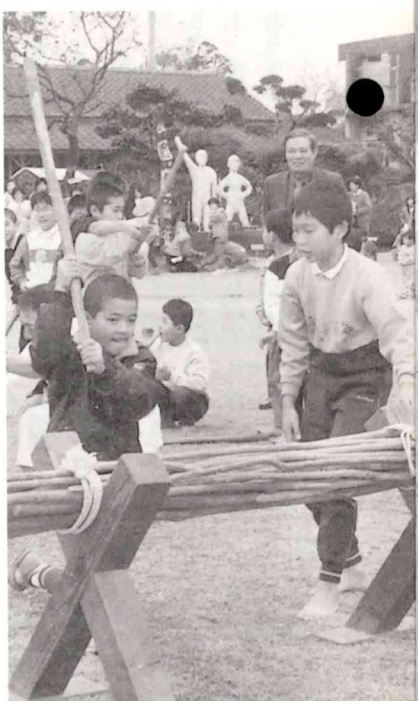
たくさんあるよ、驚くような文化財



智洋くん (宿利原小6年) 一哉くん (宿利原小5年)

はくたちの宿利原小郷土文化財少年団では、七月に校区に伝わる民話を調べました。命苦地区の「ふしぎな石」というお地蔵さんの涙だった不思議な石を拾った話や、「ウドンの横尾峠」という大男の話など、ほくたちの校区にもとてもおもしろい民話があることを知りました。

八月には、宿利原に明治以前から伝わる「薩女踊り」をおばさんたちに教えてもらい練習を始めました。また、石像調査もしました。高尾神社に行き役行者像を見学しましたが、ここに行くまで高尾神社にこんな石像があることを知らない者が半数ほどいました。この少年団の活動が始まって、ほくたちの校区でもそんなものがあつたのかとびっくりすることがたくさんあります。これからは自分たちの住んでいる宿利原のことを一つでも多く知るように努めていきたいです。



四方学舎の子供たちの指導で自顕流に挑戦する宿小児童

地域の文化が受けつがれにくい現代

大根占町の自然や産業、歴史などがまとめられている町誌によると、わが町では昔から棒踊りなどの各種踊りや神舞い、柱松などの各種祭りが行われていたようです。

それぞれの地域や団体が、さまざまな祈りや意義を考え、大切にふるさとの文化を受けついできたようです。ところが、近年は第一次産業から第二、第三次産業へ町の産業構造が変わり、また核

家族化や地方のミニ都市化が進み、地域のつながりが希薄になり、昔ながらの郷土文化や芸能が受けつがれにくくなっています。

サラーマン家庭が増えるにつれ「住まい」生活の場」と「活動」職場」とが完全に離れ、どちらかというと職場の人間関係に重点が置かれ、地域住民同士の連帯感を維持し続けることは困難になっているようです。

子供たちの教育についても昔は、地域というものがかなりの役割を果たしていました。異なった年齢の集団が、それぞれの遊びや芸能をする中で、季節感や人間関係、生活に根づいた文化などを、無意識のうちに学んでいました。

現代は、受験戦争の激化や兄弟姉妹の少人数化などで、地域での交わりが少なくなり、学校中心の生活になり、さまざまな体験を通じた人材教育が薄れてきています。

郷土文化見直しの動き

どんなに小さな村でも、歴史が培ってきた風土があり、それを大事にすることが子供たちの郷土愛を育てる一つの方法ということ、町教育委員会では、各地区の文化財や芸能の保存、掘り起こしに力を入れています。

一月七日、宿利原小学校で鹿兒島、肝属両地区の優秀な文化財少年団同士の交流会が

開かれました。

肝属地区の代表は、今年度大根占町の文化財少年団に指定され地区に伝わる薩女踊りを復活させたり、高尾神社の役行者像や地区の民話調査等を行っている宿利原小学校でした。

特に、薩女踊りについては、明治以前から宿利原区に伝わっていた女子の踊りで、

鹿兒島地区の代表は、南洲神社を拠点に鹿兒島に四百年前から伝わる郷中教育を行っている四方学舎でした。

この団体は、セゴンの遠行や妙円寺詣り、古武術の自顕流を行いながら、青少年の教育を行っています。

この日は、両団体の日頃の活動発表や、宿利原小の薩女

踊り、四方学舎の自顕流の披露があり、地域が育てる文化の大切さを再認識しました。このような郷土教育とは別に、最近では、芸能や伝統行事を村おこしに利用する場合もあります。

本町でも昨年七月二十一日、河上神社に古くから伝わる火祭りの柱松を、夏祭りの前夜祭として神川海岸で復活させました。

十四年ぶりの復活ということで、城元地区の古老の指導の下に、町内各層の若者が松の切り出しからかざり取り、当日の火つけ合戦まで奮闘しました。

過疎と言われて久しい大根占町ですが、柱松という一つの伝統行事復活に、若者のふるさとを思うエネルギーが凝縮されていたようでした。

先人の思い込められた芸能、伝統行事



田植えから収穫までをコミカルにまとめた田の神踊り

郷土芸能や伝統行事には、その地方の自然や風俗、人情など、さまざまな起源があります。

現在行われている宿利原地区の棒踊りは、平家の落人たちが源氏の追討から身を守るためのものであったり、銭太鼓や旗山神社の山の幸祭、神川上区などで行われる十五夜綱引き等は、豊作、豊漁祈願のためであったりと、それぞれに先人たちの思いが伝えられています。

その他にも、表①のように町内に現存する芸能や伝統行事は、さまざまな意味合いを

持っています。

正月、節分、桃の節句、端午の節句、春と秋のお彼岸、お月見など、昔は季節ごとの行事も大切に行われてきました。

いずれも多くの人が集まり飲食を共にすることを特徴とし、相互の連帯感を高めたりある場合にはひとりの人をほめたたえ、ある場合にはそこにいない人と自分との関係を考えるという意味がありました。

現代社会は、伝統行事など季節の移ろいを感じるということさえも、経済最優先の考え方の下になくなっていくのではないか。

現在も残る

① 主な芸能、伝統文化

名称	由来	継承団体名
田の神踊り 十五夜綱引き 山の幸祭 御神幸祭 柱遣り 木遣り 薩女踊り 銭太鼓	五穀豊穣 五穀豊穣 豊漁祈願 厄よけ祈願 大蛇追討か豊作祈願 鳥居建ての祝い 五穀豊穣	神川地区婦人会 神川上、神川中、神川新町、鳥浜の各区 旗山神社 河上神社 河上神社と城元地区 神川中區子供会 宿利原小文化財少年団 神川小学校、鳥浜子供会

伝統芸能の発掘、普及に努力



平原 瑞穂 教育長

私たちのふるさとには、すばらしい数多くの民俗芸能があります。この財産はふるさととの歴史、文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであり、将来の文化の向上、発展の基礎をなすものがあります。

子供たちを中心に考える時人生のそれぞれの節目にあたる一儀式、一年の移り変わりとの関係の深い行事は、できるだけ家庭や地域内で残していくことが、情操教育にもつながるものと思われれます。

親と子が体験を共にしたり、その日やその行事のいわれについて親が子供に話すことで子供の心に鮮明に残り、自分の「ふるさと」というものに新たな感を抱くのではないのでしょうか。

自然の中で祖先が長い歴史の過程で生み出し、伝えられてきた共通の貴重な文化遺産であり、これを大事にし現代に生かし、次代に伝えることが私たちに課せられた重大な責務であります。

ここに思いをいたし、今後さらに各種伝統芸能の発掘、普及に努力し、発表の機会を設け、活気に満ちたふるさとにおこしに努力していきたいと考えます。

ふるさと愛する心、育むためにも…

最近の村おこしブームの中で、最も難しいとされるのが実際に自分たちの町に愛着を持ち、立ち上がろうとする人おこしだと言われています。

このようなことを考えると、子供のころから、芸能や伝統行事を生かしてふるさとを愛する心を育むことが、本当の町づくりにつながり、将来の大根占町を担うすばらしい人材育成に発展していくのではないのでしょうか。

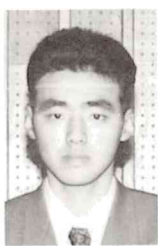
124人が集い成人式



全体で記念撮影する新成人

新春の1月3日、町中央公民館で平成3年成人式が開かれ、124人(男68人、女56人)の若者が集いました。

式では、若者の主張やフォークダンスなどがありましたが、それぞれに着飾った若者は久しぶりにあった仲間との会話に熱中していました。



安水 峰晴さん(安水 区)

私はなんぐう農協池田出張所に勤務しています。農協に入った動機は、私自身、農家の長男で最終的には農業を継ぎたいと考えたからです。農協で色々な方面の農業状況を勉強したいと思っています。

地元の池田で働くこと

新成人の主張 — 一部抜粋 —

私は高校卒業後、社会人として実社会に飛び込み、毎日を緊張と不安の中で過しました。この二年間、いろいろな方々と接する中で、多くのことを経験し、学ぶことができたと思います。中でも特に実感したこ



黒木 紀子さん(大橋 下区)

れからは、大人としての自覚を高め、自他ともに認めてもらえるよう責任感と信頼を身につけることを目標に頑張っていきたいと思っています。

結核 あまくみると怖い

— 保健婦だより —

「結核という病気を知っていますか？」

三十年前までは死亡順位の一位だった病気です。今日では、医学の進歩と生活条件の向上で大幅に減少しました。

しかし、進行した結核は、最新の医療技術であっても治すことはできず、毎年四千人以上の人が亡くなっています。このうち、五百〜六百の人が結核とわかってから二〜三か月のうちに死亡しているといわれています。

予防のためには早期発見、早期治療が何より大切です。

結核を早く見つけるために

① BCG 接種

BCGで完全に集団感染を



結核に限らず、体の抵抗力が低下すると外敵(病原菌)を排除しようとする防御力がおちて、いろいろな病気が起こってきます。

普段から体の鍛錬を心掛け病気から身を守りましょう。

③ 喀たん検査

たんの中に結核菌があるかどうかを調べる方法です。この方法はとても精度の高い方法です。

② レントゲン検査

この検査は、結核菌が体内に病巣を作ると、レントゲン撮影した写真に影となって映るため、結核の発病を見つけるのに威力を発揮しています。

また、最近結核だけでなく、肺ガンなどの発見にも役立つ検査です。最低年一回のレントゲン検査は受けましょう。



だいこんランナーのランナー

一月十五日、大根の産地、宿利原で第四回大根占だいこんジョギング大会が開かれ、町内外から六百四十

六人(町外二百十八人)ランナーが参加しました。小学生から八十歳の方まで、三キロ、五キロ、十キロの三コースにチャレンジしました。大根の収穫作業の手を休め



3 km60歳代以上女子の部で優勝した堀之内さん(京町)



▲苦しくても、桃太郎旗をかついで

うどんコーナーは盛況でしたが、一部の出場者が食べられなかったという話も…



▶やったあ、ブリの大当たり



3 kmコースには、道路を埋めつくさんばかりの選手が……

体と相談しながら
ゆっくりと



原口 幸三さん
(80) 小林市

小林に走ろう会ができ、六十五歳ぐらいから走りだしました。一年間に七、八回このようなジョギング大会に出場していますが、このコースは起伏があつて完走するのがたいへんでした。長く走ってこれた秘訣は、体と相談しながら無理をしないことです。

つらい時の応援
うれしかった



中村 美保さん
(17) 牧原区

この大会に出場するのは三回目でしたが、初めて十キロに挑戦しました。走ることが好きで、自分の体力の限界にチャレンジしたくて……。前半はなんとか走れましたが、後半は足が重くてつらかったです。でも、その時、沿道のおばさんたちの応援がとてもうれしかったです。



吉水 明美さん
(11) 鹿屋市



蔵 崎華代さん
(12) 鹿屋市



岡崎 美江さん
(12) 鹿屋市

大根はおばあちゃんの顔みたい
ユニーク賞をねらって三人で汽車ポッポをしながら走りました。途中でおじさんが「気合いが入っちゃっどね」と、一本ずつ大根をくれました。走るのとはつらくなかったけど、大根が重たかった。やぐらの大根は、おばあちゃんの顔みたいにしほんでいたなあ。

本の散歩道

町中央公民館図書紹介

「本は友だち」

障害をもつ子供の豊かな読書体験のためにまた、すべての子供たちにとって大きな心



著者 ウー・トリー
発行 デー・スター社
成 借

「砲台跡の夏草」

日米決戦と
志布志湾

日米大戦の最後の戦闘作戦となった「南九州上陸作戦」。この戦闘での双方の攻防を



著者 太佐順
発行 太六

短歌

大晦日に障子張りたる遠き日を
俤びつつ張る独りの部屋に
吊橋の揺らぐを云いて渡りゆく
われの直下に激つ滝壺

坪内 ミネ

俳句

餅をつく園児の瞳円なる
行事メモ月々消され十二月
せわしさを背負いて年の改まり
足早に過ぎ行く木門や年の暮
静かなる好きな日和の落葉焚く
おだやかな夫の寝息や除夜の鐘
ゆずの香に浸る幸せ冬至風呂
岬への道は明るし石路の花
初霜や諸相大地にみな還る

畑添スズ子
原田つる代
木下 輝夫
中村 尚幸
山元 楠風
原口マサ子
前田ミカサ
上久保 睦
池田 木花

文芸

河野 通子

フ

オ

ト

ニ

ユ

イ

ス

身近な情報を
役場広報係へ

☎ 2-0511

ダセダセで

子宝さずかりますように！



お祝いのお礼に山添さんから紅白のもちが贈られる

1月15日、大橋上区の山添行治さん宅で「ダセダセ」という伝統行事がありました。

前年中に嫁さんをもらった家で、15歳以外の男の子が歌や踊りを披露し、子宝がさずかりますようにと祝う祭りで、昔からこの地区に伝わっています。

この日は、門前で子供会の新久保一成君らが“家で祝おかい、外で祝おかい”とたずねた後、家の中で赤飯等をごちそうになり、歌を披露しました。

大空に畳2枚分のたこも

一月十九日、神川海岸で新春たこ上げ大会が行われ、羊の絵等が描かれたたこなどが空高く上がりました。神川上子供会（三十七人）は、畳二枚分の大だこを作りましたが、風をとらえて上がりだすと、大空にひときわめだっていました。



北東の風が吹く
絶好のたこ上げ日和

校庭いっぱいにかかるたとり



一目散にかかるたに向うために転倒する場面も

1月17日、大根占小学校で、子供たちから募集した道徳についての標語を使い、かるた大会が開かれました。

全児童が二人一組になり、校庭に広げられたかるたとりをしました。なかなか見つけだせずに、右に左に走りまわっていました。

岩崎 豊さん
(麓区)

渡瀬 行夫さん
(厚ヶ瀬区)

松 延彦さん
(中園区)

躍進著しい

町ゲート協会

平成三年度からゲートボールが日本体協に加盟する予定ですが、本町のゲートボール協会は県内の各種大会で輝かしい成績を挙げています。また、この度、中国の松延彦さんが公認一級審判員に、厚ヶ瀬の渡瀬行夫さんと麓の岩崎豊さんが二級審判員に合格されました。今後の活躍を期待します。

火の始末



毎年工夫をこらして防火を呼びかける

毎年、干支を利用して火災予防を訴えている南部消防署ですが、今年は羊がお目みえし、「羊が一びき…寝る前に火の始末」と呼びかけています。

豊作を祈り種まき



厳しい農業情勢を吹きとばすかのように...

1月20日、大根占町分の葉たばこの種まきが木場上の育苗ハウスでありました。

今年も昨年より16ha増反され、町全体で154haとなり、県内でも有数の産地となりました。町長らが豊作を祈り種をまきました。



早朝にもかかわらずご苦労さま

規律整然とした消防人

新春恒例の町消防団出初め式が1月6日、大根占中学校でありました。

昨年は台風の災害防止に活躍した消防団ですが、この日も小隊訓練等に規律、整然とした勇姿が見られました。



精かな団員による街頭パレード

こんにちは 大根占署です⑪

■資格商法
「この講習を受けると、試験なしで国家資格が取れる」
■無店舗販売事犯とは、訪問販売や通信販売の形態を利用して行われる悪質商法をいいます。
■かたり商法
「消防署から来ました。消火器は、家庭に一本置くことが義務づけられています」などといって、普通の消火器を高く売りつける手口
■資格商法
「この講習を受けると、試験なしで国家資格が取れる」

「この商品は今売れていて生産が追いつかないんですよ。片手間にできますから、内職でやってみませんか」などなど、だまして、商品を作るのに必要な機械等売りつけ、できた商品は買わないという手口
■内職商法
「この商品は今売れていて生産が追いつかないんですよ。片手間にできますから、内職でやってみませんか」などなど、だまして、商品を作るのに必要な機械等売りつけ、できた商品は買わないという手口
■かたり商法
「消防署から来ました。消火器は、家庭に一本置くことが義務づけられています」などといって、普通の消火器を高く売りつける手口
■資格商法
「この講習を受けると、試験なしで国家資格が取れる」

最近、家庭から収集所への「ゴミ」の出し方が悪く、収集所周辺をはじめ住民の方々から役場へ苦情が寄せられています。
「ゴミ」を収集所へ出すときは、次のことを守って収集
① ゴミは定められた日の朝八時ごろまでに出す。
② ゴミ袋には名前を表示する（マ
最近、家庭から収集所への「ゴミ」の出し方が悪く、収集所周辺をはじめ住民の方々から役場へ苦情が寄せられています。
「ゴミ」を収集所へ出すときは、次のことを守って収集
① ゴミは定められた日の朝八時ごろまでに出す。
② ゴミ袋には名前を表示する（マ
③ 燃えるゴミの中に、燃えないゴミを混入しない。
④ 生ゴミはよく水切りをする。
⑤ ゴミ問題は町民一人ひとりが自分の問題として考えなければいけません。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

正しい確定申告 お早めに

所得税の確定申告は、二月十六日から三月十五日までとなっています。

所得税は、あなた自身が正しく所得や税額を計算して納税をするという申告納税制度をとっています。

確定申告は、あなたの昨年一年間の事業や収入の総決算ともいえるものです。

事業をしている方はもちろん、サラリーマンの方でも確定申告をしなければならぬ方は、できるだけ早めに申告をお済ませください。



確定申告で分かりにくい点がありましたら鹿屋税務署(☎0994-3127)にお問い合わせください。

なお、個人事業者の消費税申告期限は四月一日です。

◎所得税、贈与税の納税相談日時 二月二十八日(木)～三月一日(金) 午前9時～

場所 役場会議室

◎役場が行う個人住民税の申告受付は二月十八日からです。

ご参加ください

機能訓練

役場では老人保健法の一環として、月一回機能訓練を計画しています。

この訓練は病院などで行う医学的な療法でなく、レクリエーションや対話を主として機能低下の防止、回復を目的

とするものです。

車での送迎も計画していますので、この訓練をご希望の方は住民課衛生係(☎20511内線17、18)までご連絡ください。

◎対象者

二十歳以上で脳卒中、事故等による機能障害者(ただし一人で歩行できる方及び、介助により歩行できる方)

四月から 学生も年金加入

現在、二十歳以上の国民は学生(夜間、通信教育を受けている人は除く)を除いて、年金に加入することになっています。

年金に加入していることで、後や障害者となった時に年金保障が受けられるわけです。従来、学生は任意加入となっていたため、大部分の学生が年金の恩恵を受けていませんでした。

このような事態を解消するため、平成三年四月から学生

もすべて強制加入することになりました。

ただし、次のような保険料負担が困難な人には、申請により保険料が免除される場合があります。忘れずに行ってください。

①親元から離れて生活している学生で、収入がない場合
②親と同居している場合でもその世帯の収入などからみて負担がでない場合

◎加入手続きは、住民票のある市町村役場で行うことになっていますが、詳しくは、住民課年金係までお問い合わせください。

井戸水の 水質は大丈夫?

水質は大丈夫?

私たちの日常生活から「水」は欠かせないものです。

現在、大根占町では町水道の他、区の簡易水道、井戸水等が利用されていますが、井戸水は水質検査等が行われにくいため、有害物質が混入していることも考えられます。

井戸水をご利用の方は、鹿屋保健所で水質検査を行って

いますので、定期的に検査をされることをお勧めします。

◎三月までの検査日時

2月18日、3月4日、3月11日、受付時間8時半～12時

◎持参するもの

一升ビンに採った井戸水 印鑑 手数料四千二百円

詳しくは住民課衛生係までお問い合わせください。

2・3月の当番医

月 日	当番医院	場所	電話番号
2月10日	二川内科胃腸科	木場区	2-2033
2月11日	城西胃腸科外科	根占町	4-2977
2月17日	郡診療所	佐多町	6-1856
2月24日	濱畑医院	田代町	5-2130
3月3日	長濱医院	麓区	2-0137
3月10日	黒木内・小医院	佐多町	6-0750

主な行事予定

2				
20	18	14	13	11
水	月	木	水	月
老人センター	五歳児歯科検診(13時15分)	母子相談(9時) 妊婦教室(13時15分) 老人センター	三か月児健診(13時) 中央公民館	町子供大会・青少年育成大会(9時) 中央公民館

安い掛金 大きな保障

— 一円保険 —

今年も、交通災害共済(一円保険)の加入受付を、二月十八日から住民税申告会場で

行います。この交通災害共済は、一日約一円、年間三百六十円の安

い掛金で、交通事故でケガをされた方に最高百万円(死亡の場合)までの見舞金をお支払いするものです。

申告会場以外に役場総務課でも受付しますので、ぜひご加入ください。

なお、今年四月から小学一年生となる方は、役場で加入

調停相談開催

日 時 2月26日 午前10時～午後3時
場 所 町中央公民館
相談内容 交通事故、土地、金銭、建物、家庭問題など

黎明館企画特別展 薩摩七十七万石

薩摩藩の政治体制の特色を城下や外城の実物資料・絵画面・パネル等で紹介します。
日 時 3月3日(日)まで 9時～16時半
黎明館 0992-22-5100

訂正

一月号二ページの「新春のゆめ・夢・ユメ」の中で、仮屋直美さんは石峯直美さんの誤りでした。

訂正してお詫びいたします。

巡回交通事故相談

とき 2月26日9時30分
ところ 役場2階会議室

さばいもんぞ!

No22 村おこしの火付け役に



坪内睦郎さん(48)
— 大根占町商工会長 —

村おこし事業や歩行者天国等の各種イベント開催、交通安全運動まで幅広く活躍している大根占町商工会。
今回は、坪内睦郎会長にお話を伺いました。

— 今年から村おこし事業を始められましたか —
今まで町の活性化の掛け声だけが先行していたので、実際に将来の大根占について話し合える機会を作りたいというところで始めました。

異業種、老若男女さまざま

な人々が集まり、特に若い世代の人々が将来に夢の持てるような町づくりについて考えていきたいと思っています。

— 商店街や商業について —
昔ながらの経営を守りながらも、団結力が年々薄れていくような感じの商店街ですが、業種が集まっている商店街の特徴を生かして、今後の商売を考えてもらいたいです。法律の改正で、鹿屋市に今

後、大型店進出もうわさされ、商圈に入っている四か町の個人商店は益々、厳しい経営を強いられそうです。

大型店対策については、複

数の個人商店が集まって、会議や余暇を楽しめるような施設まで含められた、多目的な商業施設を作ること考えられます。

実際に千葉県で見ましたが、多くの業種がひと所に集まっているため、用事が合理的に済まされ、また、余暇時代にマッチした学習講座まで備えてあれば、お客様のニーズに十分応えられそうです。

— 大根占町への要望は? —
観光開発や企業誘致など町

活性化が進められています。町外在住でUターンを希望している人の対策を早急にして欲しいものです。

過疎化が進む中でも地元で暮らしたいというUターン希望者は多いはず。その相談窓口や連絡員制度を作り、郷土愛着心の強い人々の手助けをすることも、一つの村おこしだと思います。

イベントにしても何にしても「企画」というものは大事なことです。役場に企画課がないのは寂しいですね。

商工会でも、街路灯やクリスマスツリー設置等を行っていますが、いろんな角度から趣向を変えた試みをしながら村おこしの「火付け役」をしていきたいと思っています。

町営住宅入居者募集

3月完成

入居を希望される方は
 ○役場に備えつけの申込書
 ○市町村発行の所得証明書
 ○住民票謄本
 申込締切 2月28日
 詳しくは役場管財係まで

みんなの窓

戸籍に関する情報は
 ホームページ上では
 掲載していません

各種の善意

町社協へ香典返し寄付

遺族 故人 区 名

岩城 嘉和 嘉一郎 旭 町

好村 秀美 小すゑ 木 原

蘭牟田 久子 繁 男 木 原

中山 庄一 フチカ 島井戸三 区

春山 ツヤ 秀 雄 木 原

前迫 優ク ミ 白 井

竹下 静雄 尾辻 一 熊 弓 場 下

眞崎 辰雄 浩 一 島井戸三 区

中園区の野元良一さんから

金一封をいただきました。

広報紙送付謝礼

大阪府の川越盛雄さん 上床

タミ子さん 安楽ヨシエさん

野間満夫さん 山元礼子さん

今月の画廊

題名 「ハルピン風景」
 作者 小 木 麦 (大橋上)



兵庫県の中野義信さん 坂元
 圭一さん 高瀬ヨシエさん
 鹿屋市の皆倉保男さん
 埼玉県の伊集院久乗さん
 東京都の池田ハル江さん
 神奈川県 神奈川県の兼子ヒサさん
 千葉県の永田杉雄さん
 鹿児島市の早瀬勝江さん
 ありがとうございます。

人口(2月1日現在)

男 3,849人
 女 4,531人
 計 8,380人

1月1日より 20人増

世帯数 2953戸

発行 鹿兒島県肝属郡大根占町役場
 総務課 0994220511